

ぶん しょ かん つう しん

文書館通信

東御市文書館

5号

令和2年
10月 発行

☎ 文書館直通 0268-67-3312
東御市教育委員会文化財係直通 0268-75-2717
✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp



長期にわたる臨時休校があった本年ですが、今回は文書館で所蔵する江戸時代の学校関係史料についてご紹介します。

【江戸時代の学校】

江戸時代の教育施設には藩校・私塾・郷学・寺子屋の4種類がありました。

藩校 (はんこう) 藩士の子息教育を行う藩立学校で、上田藩と小諸藩に『明倫堂(めいりんどう)』という同じ名前の藩校が、それぞれにありました。

私塾 (しじゅく) 有名な師に教わりたい生徒が集まり、自然発生的に開かれた私設の学校。

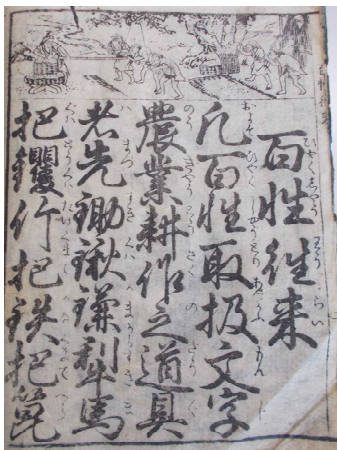
郷学 (ごうがく) 藩校の分校で藩士や庶民の教育のため、領主または有志が設立した学校。

寺子屋 (てらこや) 手習師匠が庶民の子ども達を集めて、読み・書き・そろばんなどを教える小さな学校。

寺子屋では、それぞれの子供たちの実生活に必要な知識を、個別教育していました。

では、荻原家に残されていた江戸時代の教科書を見てみましょう。

下の写真は〈往来物 (おうらいもの) 〉と呼ばれる教科書です。



把 <small>くは</small>	者 <small>は</small>	農業 <small>のうぎやう</small>	凡 <small>およそ</small>	百姓 <small>ひやくしやう</small>	百姓往来 <small>ひやくしやうわらい</small>
鏝 <small>とうく</small>	先 <small>まう</small>	耕作 <small>こうさく</small>	百姓 <small>ひやくしやう</small>	取扱 <small>とりあつかい</small>	文字 <small>もんじ</small>
竹把 <small>たけくまで</small>	鋤 <small>すき</small>	之 <small>の</small>	取扱 <small>とりあつかい</small>	文字 <small>もんじ</small>	
鉄把 <small>かねくまで</small>	鎌 <small>かま</small>	之 <small>の</small>	取扱 <small>とりあつかい</small>	文字 <small>もんじ</small>	
籠 <small>かご</small>	犁 <small>うしすき</small>	之 <small>の</small>	取扱 <small>とりあつかい</small>	文字 <small>もんじ</small>	
	馬 <small>うま</small>	之 <small>の</small>	取扱 <small>とりあつかい</small>	文字 <small>もんじ</small>	

ひやくしやうおうらい

百姓往来

農民の子弟に生活に必要な用語や知識を授けるために作られました。農業耕作の道具・新田開発の地均し・水損や旱(ひでり)損の手当の事・飢饉(ききん)に備える心得・茶菓子や客人のもてなし・牛馬の飼料や売買などが書かれています。

※ふりがなは、この古文書に記されている表記のままです。

荻原家文書目録No.278-1 文化8年(1811)

◆往来物 (おうらいもの) とは。

平安時代から明治時代初期にかけて作られた、初歩の教科書を言います。

もともとは、手紙の形で手紙文の行き来 (往来) していたことから『〇〇往来』の呼び方が付きました。本の形になってもこのように呼んでいます。

各寺子屋の先生が独自に作ったものもあり、往来物の数は数千種類あると言われています。

まんぼうしょうばいおうらい

萬賣商売往来 年不詳

商売人の子弟に、商売の取引に必要な文字・数字・証文・日記や貨幣の名称・秤(はかり)の単位・雑穀類の名称・運賃などを差し引いた相場値段の決め方・布や染色の名称・武士の道具の名称などを挙げています。商売人の心得として勤勉・正直・儉約が説かれており、教訓書として農村でも使われていました。

算用帳 さんようちやう	証文 しょうもん	員数 いんしゆ	凡商売 およそしょうばい	商売往来 しょうばいわうらい
目録 もくろく	注文 ちうもん	取遣之 とりやりの	持扱 もちあつかふ	文字 もんじ
仕切 しきり	請取 うけとり	日記 にっき		
之 の	質入 しちいれ			



荻原家文書目録No.2220 文政10年(1828)

すみだがわおうらい

隅田川往来 天保14年(1843)

江戸隅田川周辺の名所や旧跡を紹介しています。

たつたもうで

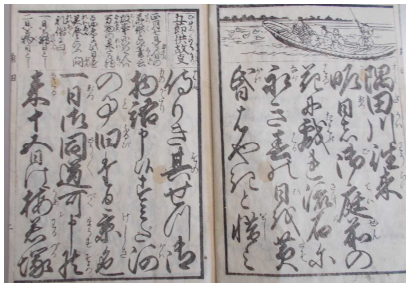
龍田詣 年不詳

奈良県龍田大社詣の手紙紀行文で美しい文章のお手本です

るいご ぶんしょう おうらい

累語文章往来 寛政4年(1792)

消息(手紙)往来で手紙の慣用語句を土農工商ごとに集めた教科書です。



荻原家文書目録No.279



荻原家文書目録No.280



荻原家文書目録No.281

だいこうえき

大廣益 寛永3年(1626)

漢字辞典です。

こぶんこうきょうせいぶん

古文孝経正文 嘉永4年

中国から奈良時代に日本に伝えられた倫理道德の書です。

ていきんおうらいしやうちゆうたいせい

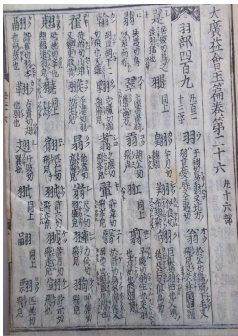
庭訓往来證注大成 年不詳

衣食住・職業・教養など一般常識を内容とする注釈書です。

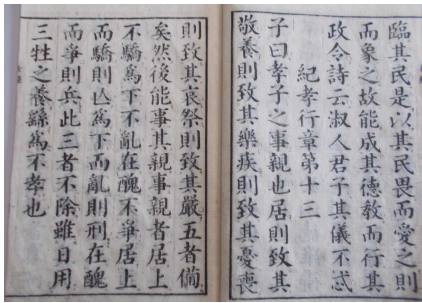
書道手本

元治元年(1864)

書き方のお手本です



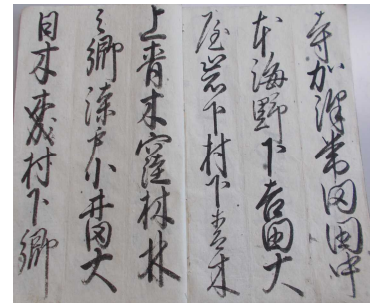
荻原家文書目録No.226



荻原家文書目録No.277



荻原家文書目録No.362



荻原家文書目録No.1239-1



【文書館展示ご案内コーナー】

お気軽にお立ち寄りください。

ここでは、文書館で展示している史資料を御紹介します。随時、展示替えなどもしております。



民俗資料目録No.353

北御牧小学校より寄贈された電気蓄音機です。旧北御牧郷土資料館に展示してあったのですが、今年移管して3階文書館入り口ホールに展示してあります。学校に保管されていたSPレコードも多量に移管されました。



「文書館通信コーナー」

文書館通信の中でご紹介した史料を中心に展示し、さらに詳しい説明をしてあります。是非、実物をご覧ください。

